

国内でもっとも絶滅のおそれのある チョウ類および昆虫類の保全体制の構築

〒140-0014
東京都品川区大井4-1-5-201
電話:03-3775-7006
E-mail:jbcs@japan-inter.net
http://japan-inter.net/jbcs/



ひろげる助成

1年目

実践



チャマダラセセリ保全のための草刈り

保全活動を実施した対象地	3カ所
保全活動参加人数	22人
今年度計画の達成度	60%
活動の全体目標に対する達成度	20%

課題

自然環境の悪化とともに、チョウや昆虫類の絶滅危惧種の総数は年々増え続けている。しかし、これらを保全するための取り組みは不足しており、危機的な種が少なくない。

目標

対象チョウ・昆虫類の生息環境が改善されるとともに、生息状況が良くなり、対象種の絶滅リスクが低減する。そして、保全するための地域の体制が確立する。

活動内容と成果

●対象の地域は4カ所で、それぞれで、生息状況・生息環境の調査、生息環境の保全作業、地域の保全体制の構築の三つの活動に取り組み、4カ所すべてで、対象種の生息状況が把握されたが、いずれも個体数が非常に少なく、絶滅

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

対象種の生息状況を把握するために、徹底した調査を行い、多くの時間を使った。

■ 工夫した点

対象種の保全の鍵となる部分がどこなのかを見極めることに重点を置き、保全のポイントを明らかにできるようにした。

寸前の状況であった。

●3カ所で、具体的な保全の取り組みとして生息地を維持・改善するための草刈り作業を行った。これによって、草原環境が好適になったが、これによる対象種への効果は来年度調査する予定である。

●各対象地域で、地域の方々と連携した取り組みを進めており、地域の理解が深まった。



アサマシジミ保全のための草刈り

今後の展望

次年度は、地域の方々により一層のご理解、ご協力を得るために、保全の方向性について、地域と連携できる取り組みを進めていきたい。